

光市高齢者保健福祉計画及び 第9期介護保険事業計画

『住み慣れたまちで自分らしく生きる

～高齢者が輝く やさしさつながるまちひかり～』の実現に向けて

令和6年3月
光市

『住み慣れたまちで自分らしく生きる

～高齢者が輝く やさしさつながるまちひかり～』の実現に向けて



本市では、平成 24 年度を地域包括ケア元年と位置付けて以降、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民の皆様、関係団体等の皆様のご理解とご協力をいただきながら、医療や介護を含めた生活を支える様々なサービスを包括的かつ継続的に提供できる地域包括ケアシステムを構築するとともに、その深化・推進に

着実に取り組んでまいりました。

こうした中で、我が国の将来を見通しますと、生産年齢人口の減少が加速する中で、2025 年に団塊の世代が 75 歳以上に、2040 年にはいわゆる団塊ジュニア世代が 65 歳以上になるなど、高齢化が更に進むことが見込まれています。

一方で、本市においては、平成 30 年度をピークに高齢者数は減少に転じ、後期高齢者数も近い将来減少に転じることが見込まれます。しかしながら、介護ニーズの高い 85 歳以上人口は、今後も増加が見込まれるため、これまで以上に中長期的な視点に立った取組が求められます。

こうしたことから、本計画においては、上位計画である第 3 次光市総合計画と同様に、2040 年を展望した施策展開を図るとともに、第 8 期計画から継承したキーワード「つながり」「場づくり」を踏まえて、新たな将来像として『住み慣れたまちで自分らしく生きる～高齢者が輝く やさしさつながるまちひかり～』を掲げることといたしました。今後は、この計画に基づき、認知症基本法の制定や介護現場における生産性向上の推進などの変化を捉えながら、本市の地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に取り組んでまいります。

私たち行政はもとより、市民や地域、事業所など「オールひかり」でつながる皆様方には、地域包括ケアシステムの貴重な担い手として、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただいた「光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会」をはじめ、議会、並びに関係者の皆様に心からの感謝を申し上げます。

令和 6 年 3 月

光市長 市川 熙

～目 次～

第1章 計画策定の趣旨	P 1
1 計画策定の背景	・・・P 2
2 計画の位置付け	・・・P 5
3 計画期間	・・・P 6
4 計画策定のための体制	・・・P 7
5 日常生活圏域の設定	・・・P 8
第2章 高齢者等を取り巻く現状と課題	P 9
1 高齢者の状況	・・・P 10
2 光市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査	・・・P 16
3 課題の整理	・・・P 25
第3章 計画の基本的な考え方	P29
1 計画の将来像	・・・P 30
2 2040年に向けたキーワード	・・・P 30
3 2040年へのアプローチ	・・・P 31
4 本市の地域包括ケアシステム	・・・P 33
第4章 基本施策	P35
施策の柱1 地域生活支援プログラム ～住み慣れた地域で安心して暮らせる社会～	・・・P 36
施策の柱2 認知症サポートプログラム ～高齢者の尊厳を保持しつつ穏やかに暮らせる社会～	・・・P 51
施策の柱3 生きがい実感プログラム ～主体的に活動し生き生きと暮らせる社会～	・・・P 62
第5章 介護保険制度に基づく保険給付の見込みと保険料	P73
1 介護保険制度改正の主な内容	・・・P 74
2 介護保険料算定の流れ	・・・P 76
3 介護保険サービスの利用の見込み	・・・P 77
4 介護保険事業費の見込み	・・・P 81
5 第9期の介護保険料	・・・P 91
6 2040年の介護保険サービスと保険料の見込み	・・・P 97
第6章 計画の推進	P99
1 市民参加の促進	・・・P100
2 連携体制の強化	・・・P101
3 計画の進行管理	・・・P102
参考資料	P103
1 介護保険サービスの解説	・・・P104
2 光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会開催状況等	・・・P107
3 光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会設置要綱	・・・P108
4 光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会委員名簿	・・・P109